

TOPIC 3 令和3年度行政研修実施結果レポート

行政フォーラム（第181回～第186回）

回	日程	講師		テーマ	参加者数
第181回	7月14日	島田 太郎	株式会社東芝執行役上席常務最高デジタル責任者／東芝デジタルソリューションズ株式会社取締役社長	情報技術の未来	127
第182回	9月15日	岡田 光信	株式会社アストロスケール 創業者兼CEO	持続可能な宇宙環境の実現と令和時代の起業家精神	84
第183回	10月20日	長 有紀枝	立教大学副総長／認定NPO法人難民を助ける会会長	難民・人道危機からみた世界と日本の役割	59
第184回	11月30日	斎藤 幸平	大阪市立大学大学院経済学研究科准教授	人新世の資本論	151
第185回	1月24日	大橋 弘	東京大学公共政策大学院院長	ポストコロナにおける新たな競争と政策の形	164
第186回	2月21日	岡本 純子	エグゼクティブ・スピーチコーチ&コミュニケーション・ストラテジスト／株式会社グローコム代表取締役社長	国家公務員に必要な世界最高の話し方	221

※各回ともオンラインで実施した。（参加者については登録数）

幹部行政官セミナー（アスペンメソッド）

	日程	モデレーター、リソース・パーソン		備考	参加者数
審議官・筆頭課長級	9月22日(水)、 10月22日(金)、 11月29日(月)	村上 陽一郎	東京大学名誉教授	<ul style="list-style-type: none"> ●アスペン・メソッドは、あらかじめ用意された古今東西の古典からなるテキスト（重要部分を抜粋したもの）を使用し、モデレーターの問いかけや整理に助けられながら、各参加者が積極的に発言し、対話と議論を積み重ねていくという思索型の研修。 ●モデレーター：テーマについての講義ではなく、対話を活性化させ、適切な方向性を与える。 ●リソース・パーソン：対話の質を高め、より実り多きものとなるよう節度ある助言をする。 	10
		渋谷 治美	埼玉大学名誉教授		
		塩川 徹也	東京大学名誉教授		